

### 市内小学生の平和灯ろう展・平和新聞展 反戦平和のパネル展

展示期間：8月2日(土)～24日(日)

展示施設	展示内容
総合福祉保健センター	三田・三輪・松が丘小学校の児童の作品
有馬富士共生センター	高平・志手原・小野・母子小学校の児童の作品 反戦平和のパネル展
フラワータウン市民センター	武庫・狭間・富士・弥生小学校の児童の作品
ウッディタウン市民センター	すずかけ台・あかしあ台・けやき台・ゆりのき台・学園小学校の児童の作品
広野市民センター	広野・本庄小学校の児童の作品
藍市民センター	藍・つつじが丘小学校の児童の作品

### 『平和の鐘』をみんなで鳴らそう！

8月3日(日) 12時30分～13時  
郷の音ホール東芝生広場

25年度に三田ユネスコ協会創立50周年を記念して、市民や協会員などの寄附から完成した「平和の鐘」をみんなで鳴らしましょう。この企画は、三田ユネスコ協会の協力のもと、平和を考える市民のつどい実行委員会が主催します。



▲平和の鐘

### 平成 26 年度 平和を考える市民のつどい 入場無料

8月3日(日) 13時30分～15時30分(受付13時～)  
総合福祉保健センター 多目的ホール

**講演** 岡田 恵美子さん((財)広島平和文化センター被爆体験証言者)  
「ヒロシマからの手紙」  
世界中の核をなくす方向へエネルギーを傾け、「二度と自分のような経験をしてほしくない」と自らの体験を語り、核兵器廃絶を訴えます。

**コンサート** ピアノ：向井 理佐美さん  
歌：工西 美穂さん  
被爆ピアノによる演奏と歌をお楽しみください。

**平和の歌** 武庫小学校・弥生小学校児童  
被爆ピアノの演奏に合わせて平和の歌を披露します。

▶被爆ピアノ…1945年8月6日、広島に原爆が投下されたとき、爆心地から1.8㎞で被爆したピアノです。傷だらけになり、音が出なくなったピアノは、一人の調律師との出会いで甦り、平和を奏でるピアノとして国内外の多くの人にメッセージを伝えていきます。



- ・当日受付により先着 300 名
- ・手話通訳・要約筆記を準備しています。
- ・一時保育をご希望の方は、7月18日(金)までに電話またはファクスでの予約が必要です。

問い合わせ＝市人権推進課(559-5148 FAX 563-3611)  
主催＝平和を考える市民のつどい実行委員会・三田市

### 仕事は私の務め

私はどちらかといえば仕事人間でした。三田市に引っ越してきた当時は夜勤をしていましたし、残業や出張も厭わなかったため、家には寝て帰るだけのようなものでした。また、組合役員もしていましたので、仕事が終わってからの組合活動などが、余計に帰宅時間を遅くさせていました。ただ役員の経験から、人との出会いは貴重なものだということも理解していました。そのため組合活動も苦にすることなく、仕事をして家庭を支えることが自分の務めで、間違った行動をしているとは思っていませんでした。

そんなある日、夜勤との交代勤務を続けていた私は睡眠障害に陥り、仕事もままならない状態になりました。昼夜ともに勤務の時間帯に睡眠が襲ってきて、仕事を維持することができなくなり、上司に退職の意思を伝えました。その時、上司の計らいで、フオーローの要員を一人付けるので勤務を続けるように」と言われ、退社を避けることができました。

仕事を辞めるようなことを考えるようになって、今まで会社の仕事や組合の活動を優先にし、家庭を顧みてこなかったことを痛切に感じました。「本当に守るべきはどちらなのか」ということを考える良い機会になりました。

### 子ども会の活動に参加して

そんな時、地域のイベントに子どもと一緒に参加しました。工作をしていた私の姿を見て、当時の子ども会会長が私を役員に誘ってくれました。当然、いままです学校行事などにもあまり参加せず、もともと地元の人でない私は、役員になることに抵抗がありました。でも熱心に誘って頂いた会長の思いを受け、承諾することにしました。

いざ役員をやってみると、バスツアーや納涼大会



### 「大人の友達作りから始めませんか」

横山 博人さん 上野台中学校PTA会長(前年度)

など、私が子どものころに実家のある地域で行われていた活動とは規模が違って、なんてすごいことをするんだらうと感嘆しました。また、子ども会の役員というのは、女性中心の活動だと思っていたのですが、実際には男性の役員も多く、中心になって活動されていることや、役割分担がしっかりしていることに驚きを感じました。

その中で、先輩役員から、「子どものための活動と言いつつ、実際は大人の友達作りがメインなんです。ぜひこれからも続けていける友達になっていきませんか。」と言われたことが、とても嬉しく、またありがたく感じ、その思いがPTA会長になつたままでも、私の活動の柱になっています。その後、子ども会からの繋がりで、三田市緑の少年団や少年野球のスタッフなどを体験することができ、そして今回PTA会長になったことで、新たに地元の数多くの方々とお会いしたことが、私にとってはとても貴重な財産となりました。

### 顔をつき合わせ

あの時、子ども会での出会いがなければ、私は家庭や地域に目を向けることが無かったでしょう。活動を通じて感じた、自分らしく生きるといふ「ワイワイフラス」について考え直す機会を得ることも無かったです。

顔を突き合わせて語り合うことで、相手の気持ちをくみ取ることができるようになりました。一緒に活動することにより絆を深めることができる。そんな心と心が触れ合うようなコミュニケーションを、大人が実践し、子どもにも見本を見せることが住みよい環境を作り出す第一歩だと考えています。

ぜひみなさんも、友達作りから始めてみませんか。

